

識別番号 C01-2984 2001年7月30日

担当医等の意見	報告企業の意見
<p>【シムメトレル】 アマンタジンの中断による悪性症候群の発現は、パーキンソンの患者では報告されているが、インフルエンザの患者では報告がない。 インフルエンザ感染症の患者の場合でも、悪性症候群が発現する可能性があることを心にとめて、徐々にアマンタジンを中止していかねばならない。 (悪性症候群：重篤（入院）、Suspected) [副作用の重篤性/重症度/因果関係] 悪性症候群（向精神薬悪性症候群）：重篤（入院）／関連が疑われる（シムメトレル）</p>	<p>【シムメトレル】 既知、重篤（入院）、Suspected</p>
<p>【シムメトレル】 本報告をもって特別な対応は不要と考えるが、今後とも類似の報告に留意したい。</p> <p>使用上の注意の記載状況等 【シムメトレル】 シムメトレル：重大な副作用 1. 悪性症候群 (Syndrome malin) 急激な減量又は中止により、高熱、意識障害、高度の筋硬直、不随意運動、ショック症状等があらわれ、このような場合には再投与後、漸減し、体冷却、水分補給等の適切な処置を行うこと。また、投与継続中にも同様の症状の出現が報告されている。 PDR/CCSI：記載なし。</p>	<p>【シムメトレル】 国内文献に基づく報告。 "Neuroleptic malignant syndrome following withdrawal of amantadine in a patient with influenza A encephalopathy"; Tadashi Ito et al, Eur J Pediatrics 160(4)401/2001 家族歴：不明</p>
処置と今後の対策	参考事項